

# 文化史学科日本文化史 新入生のための登録の手引き

## 1、「登録」とは何か？

- ・大学では、時間割表は自分で作ります。

＊『文学部登録要領』の最終ページに白紙の時間割表が付いていますので利用してください。

- ・主として時間割作成に用いるのは配布された下記の三冊です。これらは文学部のホームページからも見ることができます。

『文学部履修要項』（以下、略して『要項』）

『文学部登録要領』（以下、略して『要領』）

『文学部授業時間割表』（以下、略して『時間割表』）



『要項』



『要領』

- ・時間割が完成したら、学修支援システムの **DUET** で入力して登録します。
- ・DUET 登録の期間は、**4月4日 10:00 ～ 4月6日 17:00** です（『要領』 p 2）。
- ・登録には上記期間に行う「**一般登録**」と、これに先立って登録する「**先行登録**」とがあります。
  - ＊「先行登録」は、**英語以外の外国語**（ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語の中から一つ選択）で4月2日 10:00～4月3日 17:00にDUET入力が必要です（『要領』 p 19 及び p 124～）。外国語科目以外にも先行登録が必要なものがあります（『要領』 p 46～53）。

## 2、基礎知識

- ・『要項』 p 88～89 をみてください。上方に2ページに連続する細長い表があります（下図）。ここから卒業には、合計 124 単位が必要であること、科目は「**必修科目**」と「**選択科目 I**」（A群・B群・C群に分かれる）と「**選択科目 II**」に大別されることがわかります。124 単位は、必修科目（36 単位）に（選択科目 I + 選択科目 II）の合計 88 単位を加えたものです。

合計	必修科目	選択科目 I			選択科目 II	
		A 群 (日本文化史科目)	B 群 (西洋・東洋文化史科目)	C 群 (関連・展開科目)	英語	英語以外
124	36	16	28	40	8	8
				88		

- ・必修科目の下を見ますと、文化史基礎演習（1）、文化史基礎演習（2）といった科目名が縦に並んでいます。この科目のより具体的な内容を示しているのが『要項』 p 90 です。p 90 の表の見方は、p 16 に説明されていますので、**履修年次・登録コード・科目名とクラス・担当者・期間と時間・校地・単位・履修条件**といった項目をよく理解してください。
- ・一年間に登録できる単位数は **48 単位** です。ただし免許・資格科目の登録の仕方によっては、48 単位を超えて登録できます（5、免許・資格関係の登録を参照）。
- ・詳しくは『要項』 p 2～7、『要領』の p1～4 を読んでください。重要なことが書かれています。
  - ＊副専攻制度については2年次からの履修となります。
- ・科目の曜日・時間は『時間割』で調べますが、文学部ホームページから時間割をみると検索機能が便利です。ただ同一科目がありますので、科目コード、クラス、担当者に注意してください。

- ・科目コードが同じなら、クラスコードが異なっても、一つのクラスしか履修出来ません。

### 3、必修科目の登録

#### 3-1 必修科目

- ・『要項』 p 88 および p 89 を見ていただくと、一年生が履修できるのは6科目です。全て登録してください。なお、各科目の曜日・時間については、『時間割表』で確認します。
- ・セット登録科目（※1の印がついている）の文化史基礎演習(1)・(2)と日本文化史演習 I (1)・(2)は同年度に受講しなければなりません。
- ・文化史基礎演習(1)・(2)のクラスは、日本文化史コースの新入生全員が、①クラスに指定されています。4月1日に、大学が一括で登録を追加しますので、各自で登録する必要はありません。
- ・日本文化史演習 I (1)・(2)のクラスは、①～⑥のいずれかがクラス指定されています。4月1日に、大学が一括で登録を追加しますので、各自で登録する必要はありません。自分のクラスは、4月1日以降に、DUETの「登録科目一覧」で確認してください。（『要項』では、掲示板を見るように指示されていますが、方法が変更となりました。）
- ・文化史学概論（1）・（2）はクラス指定がありません。

#### 3-2 外国語科目

- ・『要項』 p 89 で、選択科目Ⅱにも、必修となる「英語」と「英語以外」があります。1年次・2年次で8単位以上を履修します。
- ・英語に関しては『要領』 p 85～92 などを見てください。
- ・英語以外の外国語に関しては『要領』 p 124～に説明があり、また先行登録が必要なことについては、この手引きの「1、登録とは？」で既に説明しました。
- ・外国語科目の登録に関する理解には、文学部オリジナルサイト「在学生の方へ」ページを参照し、「外国語・全学共通教養教育科目説明会」の動画をみてください。  
(<https://letters.doshisha.ac.jp/students/students.html>)

### 4、選択科目Ⅰ・Ⅱの登録

#### 選択科目Ⅰ

- ・『要項』 p 88 をみると、選択科目Ⅰで1年次生が登録できるのは「博物館概論」「博物館教育論」だけです。卒業単位と共に、博物館学芸員資格にも必要な単位です。詳しくは『免許・資格関係履修要項』をみてください。

#### 選択科目Ⅱ

- ・『要項』 p 89 をみると、選択科目Ⅱの枠内には色々な分野の名称が並んでいますが、最初に記されている「全学共通教養教育科目」の内容が多いことが分かります。この「全学共通教養教育科目」については、『全学共通教養教育科目履修要項』を参照してください。特に p 13 はよく読んでくだ

さい。具体的な科目名は p 15～34 に分野ごとに書かれています。

- ・なお、例えば人文科学系科目のうち日本史(1)(2)、考古学(1)(2)などは多くのクラスがあるため、シラバスで授業内容を理解し、『時間割表』で他科目と重なっていないかを確認の上で登録します。
- ・「他学科・他学部等設置科目」についても1年次から登録できる科目があります。『要項』の他学科のページを見てください。

## 5、免許・資格関係の登録

- ・教職課程・博物館学芸員課程・図書館司書課程・学校図書館司書教諭課程が履修できます。
- ・上記の教員免許や各種の資格を取得するには、1年次から積極的に履修できる科目を学んでおくのが良いでしょう。
- ・詳細については、『免許・資格関係履修要項』、および『要項』 p 143～161 を参照してください。
- ・また同志社大学ホームページから同志社大学免許資格課程センターに進み、「新年度免許資格関係日程」を見てください。
- ・なお「免許・資格登録科目」として登録する場合（科目登録時に種別欄「M」を付ける）は、上限の48単位を超えての登録が可能です。その単位は卒業単位や副専攻の単位には算入されません（『要項』 p 3～4）。
- ・「自由科目」は、卒業単位に算入されない科目のことです（『要項』 p 3～4）。

## 6、登録の確認

- ・4月12日～14日にDUETより登録科目確認表をダウンロードして確認してください。
- ・登録エラーがあれば、今出川キャンパス教務センター（文学部）より、DUETメッセージにて案内がありますので、その内容に沿って手続きをしてください（『要領』 p 10）（『要項』 p 6～7）。
- ・授業開始の約1か月後に「履修中止」の手続き期間があります（『要領』 p 2、『要項』 p 6～7）。  
\*新型コロナウイルス感染拡大に伴い、スケジュールや実施方法に変更が生じる可能性がありますので、大学ホームページの案内に注意してください。

## 7、質問について

- ・外国語に関しては、同志社大学全学共通教養教育センターのホームページをみてください。
- ・免許・資格に関しては、同志社大学免許資格課程センターのホームページをみてください。
- ・文化史学科日本文化史コースの専門科目や卒業までの流れに関しては、4月2日～6日までの間に教員や大学院生による登録相談がありますので、そこで尋ねてください（登録相談の日時や場所、スケジュールについては『要領』 p 14 参照）。